

2020/11/28-3

(うと Q 世話し 当たって欲しくない予測 )

corona 禍でこれ程景気が悪化しているのに、史上最高値の株高。

なんで？

と思われる向きもございましょうが、是は自分の見た処、偏に

「各国中銀の金融緩和がこの異変の元」であると思っております。

どういう事かと言えば

「金融緩和（金利低下）でお金がどんどん市中に溢れ出します。ところが現実世界では直接投資をするに見合う実体がありません。結局そのお金は行き場を失って、ある時は gold に、ある時は債券に、そしてある時は株式市場に怒濤の如く流入するわけです。

それが今回は株式市場。それがこの異様な株高の原因。

それでは誰がそれをやっているのかと言えば、超富裕層や巨大団体にお金の運用を任せられた money fund をはじめとする機関投資家達です。個人株主とは全く異質の感性与行動原則を持った集団です。彼らは期間内に運用益を上げることを至上命題としておりますから、どんな悪環境でも運用を止めることが出来ないのです。

その彼らが現在目を向けているのが IT 超巨大企業群です。

処がこの IT 超巨大企業群は少ない人数の超高度技術者達で巨大な利益を産みだしております。

一方、多大な人間が働いているその他の産業の多くは、今 corona 禍で収益が大幅に悪化しております。

少ない人数の所帯に巨額のお金。大人数所帯に雀の涙程のお金しか入ってこないわけです。これが格差の元になっております。

ある国では国家増強の為にこれを更に推し進めようとし、ある国では、格差による民の不満を合理的沈静策の一つとして、この「超巨大企業群解体」を唱え始めたりしております。

直接の不満が国家に向かい始めると困るからです。

ところが IT 超巨大企業群とて負けている訳にはいきません。

元々彼らは「その他産業」からの広告や寺銭で収益を得ております。なので、その他産業が疲弊すればいずれ「明日は我が身」である事を熟知している筈です。

では彼らがそれを見越して、その次に何をするかと言えば「需給に振り回されにくい」お金そのものを control しようとし出す筈です。

その一例が「企業による bitcoin 等の blockchain」創造 (F) や量子 computer が得意とする portfolio 最強最適無敵運用実施の為の量子 computer の開発 (G) 次には混合 type の仮想市場と物流 system の一括統治 (A) 交通 system 統治と control (G) 等で既に始めている模様です。

是らは全て、彼らが持つ無形資産の賜物です。

さてこの予測が当たるのか？

自分としては「掠（かす）りもしないで外れる」事と強く願っております。

注)

使用文字でアルファベットを使うのは、半角扱いで字数カウントを減らし 1000 文字以内規定に収めるためです。悪しからず。